

## 姫路市こども・若者会議等企画・運営業務委託に係る公募型プロポーザルに関する質疑回答書

令和7年(2025年)3月21日

番号	要求水準書・募集要項等	頁・項等	質疑内容	回答
1	要求水準書	2	こども家庭庁のガイドラインを踏まえた研修を自社開発プログラムとして持っている場合、その内容を今回のファシリテーター研修として提案することは可能か。	要求水準書にある実施内容を満たすものであれば、差し支えありません。
2	要求水準書	3	プログラムの中で、市内外のフィールドワークやゲストを招くことは可能か。	要求水準書2ページの3(2)にある実施場所以外の場所で行われるフィールドワークをプログラムに含めることは認めません。ゲストの招聘はプログラムに含めて差し支えありませんが、そのために必要な謝礼、交通費等の費用は、委託料の範囲内で受託者が負担することとします。
3	要求水準	3	会議について:実施内容がワークショップとなっていますが、設定時間などは、本市との協議となっていますが、決定してからとなりますか？	ワークショップの実施時間については、要求水準書において「午後1時から午後5時までの間に実施する」としていることを踏まえ、本事業の目的達成のために効果的なプログラムを行うために必要な時間を検討し、提案してください。 契約候補者の決定後、当該候補者の提案内容を踏まえて協議を行った上で、実施時間を最終的に決定します。
4	要求水準書	4	市外大学生もサポートファシリテーターの参加対象になっているが、どの程度の額の謝礼を見込んでいるのか。	サポートファシリテーターを務める大学生等への謝礼は、会議に参加する大学生等の人数により変動する場合がありますが、一人一日当たり2,000円～3,500円程度を予定しています。
5	要求水準書	4	サポートファシリテーターはボランティアかつ7月中下旬は前期テスト期間と被ることが予想されるため、必ず要求水準の大学生が確保できない可能性もある。その場合の判断を伺いたい。また、参加者数に鑑み、受託事業者の判断で大学生が5名以下の確保で十分と考えた場合、5名以下での運営も可能か。	要求水準書において、サポートファシリテーターとして会議に参加する大学生は各回5～15名程度としています。これは、会議参加者の1グループ当たり大学生等を1～3名程度参加させることを想定したのですが、会議参加者の人数を考慮し会議の運営に支障がないと判断される場合は、市と協議の上、大学生等を5名より少なく参加させることとしても差し支えありません。 必要となる大学生等が確保できない場合は、大学生等の代わりに、委託料の範囲内で受託者の用意するスタッフがサポートを行うこととし、なお人員が不足する場合は、市職員が可能な限りサポートします。 なお、受託者においては、「大学生等」が18歳以上30歳未満の者であることも踏まえ、十分な参加者を確保するための広報宣伝方法を検討してください。
6	要求水準	4	募集に関しては、市からの協力は得られますか？	研修及び会議の参加者の募集に係る広報宣伝について、姫路市は、要求水準書において「広報宣伝は市が行う」としているもののほか、市の公式ウェブサイト、公式SNS(X、Facebook、LINE)による周知を行います。
7	要求水準	4	受付は、姫路市となっています。募集チラシ作成時のQRコードなどは、設定したものをいただけるのでしょうか？または、ファックス申込になりますでしょうか？	研修及び会議の申込については、兵庫県の電子申請共同運営システムを利用し、オンラインで行っていただくことを予定しています。当該申請フォームへのリンクURL及びQRコードについては、募集チラシ作成時に提供することが可能です。 なお、申込方法をオンラインのみとするか、郵送、ファックス等他の方法を併用するかについては、検討中です。